

地域大学振興に関する有識者会議

# 静岡県における産学官連携の取組

2025年10月22日

静岡県企画部参事（総合教育担当）  
縣 修

# 静岡県産学官連携推進会議の設置

県内高等教育の今後の在り方や地域に求められる人材育成に向けた産学官の連携について議論するため、ふじのくに地域・大学コンソーシアムに産学官連携推進会議を設置した。（静岡県補助事業）

## ● 会議のねらい

- 「産学官による恒常的な地域協議体（静岡県版『地域構想推進プラットフォーム』）」の構築
- 静岡県における高等教育の在り方（ビジョン）の検討
- 本県の持続的な発展に向けた産学官による実効性のある取組の実施



## ● 会議の概要

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                        |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 内 容   | <b>【第1回】令和7年10月10日</b><br>文部科学省説明（文部科学省高等教育局大学振興課地域大学振興室長 石川 雅史）<br>意見交換：産学官に求められる連携・取組、静岡県における高等教育の在り方<br>ふじのくに地域・大学コンソーシアムへの期待、地域のニーズを把握する調査への助言                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                        |
| 出 席 者 | <b>コーディネーター：西原 茂樹</b> （総務省地域力創造アドバイザー、静岡大学地域連携アドバイザー、元牧之原市長）<br><br><b>【産】</b> 池田 貴裕（パイフォニクス㈱代表取締役）<br>井出 雄大（㈱静岡銀行地方創生グループ課長）<br>江崎 亮介（㈱江崎新聞店代表取締役専務）<br>梶川 久美子（サツマ電機㈱代表取締役社長）<br>河田 亮一（加和太建設㈱代表取締役）<br>西村 やす子（㈱CREA FARM代表取締役社長）<br><b>【官】</b> 縣 修（静岡県企画部参事（総合教育担当））<br>江村 輝彦（富士市総務部長）<br>小野田 秀生（静岡県教育委員会教育監） | <b>【学】</b> 阿部 郁男（常葉大学副学長（地域連携担当））<br>大石 人士（静岡大学理事（地域連携担当））<br>賀川 義之（静岡県立大学理事（教育・学生支援担当））<br>久保田 香里<br>（学校法人静岡理工科大学地域協働センターセンター長）<br>田中 章元<br>（静岡産業大学学長補佐（企画戦略・地域連携担当）） |

# 第1回会議における主な意見

## 【産】

- ① **地域課題・社会ニーズの可視化とデータ活用**
  - ・ 地域課題の「見える化」が不足
  - データの収集・分析・共有と学びの場が必要
- ② **産学官・企業連携の在り方と実装**
  - ・ 連携は理念ではなく、オープンイノベーションを軸に「場」と実装へつなげることが必要
  - ・ 意欲ある主体の連携によるスピード感ある実装が必要
  - ・ 都市圏・海外ネットワークを活用した接続を提供可能
  - ・ 企業⇄大学・行政の双方向インターン／交流、リカレント教育の場を希望
- ③ **人材育成・学びと行動変容支援**
  - ・ 現場ニーズの提示と共創研究、学生の自律的行動を促す実地プログラムが有効
  - ・ 海外交流や越境学習の導入、得た刺激の行動転化を支援
  - ・ 行動を促す評価・表彰等のインセンティブ設計が効果的
- ④ **企業文化・業界構造の変革と魅力発信**
  - ・ 企業側のカルチャー変革（面白さ・成長機会の提示）が定着の鍵
  - ・ 業界の魅力発信を行うとともに、人材パイプライン形成を産学官で長期設計することが必要

## 【学】

- ① **高等教育の構造改革と柔軟化**
  - ・ 高等教育の広義化（専門学校と大学の接続、単位互換、リスキリングの就業内学習）の推進
  - ・ 大学組織の硬直性をモデルケースで突破（PBL・インターンの全学展開の試行）
- ② **学びの多様化と個別最適化**
  - ・ 一律教育は質低下リスクあり、才能発掘・個別化が課題
- ③ **地域連携と実装の深化**
  - ・ 駅前拠点でDX等の実践的教育を展開、学科再編でニーズを反映
  - ・ 地域間（東部・伊豆等）の連携強化
  - ・ タイミング・コンテンツ・発信手法の最適化が必要

## 【官】

- ① **地域・拠点の課題と対応**
  - ・ キャンパス撤退の影響が大きく、フィールドワーク受入、補助制度、企業連携を拡大
  - ・ 地理的距離と情報収集機能の弱さが課題
  - ・ コア拠点と情報ハブ機能が必要
- ② **教育ネットワーク・連携体制の強化**
  - ・ 県立高校コンソーシアムと大学・企業との接続を強化
  - ・ 教員のコーディネート機能の補完に大学・地域の支援が有効

# 今後の展開

## ● 施策につながる具体的な提案（第1回会議）

- 情報・データ基盤：地域課題・産業ニーズの定期調査・ダッシュボード化、産学官で共有する会議の定期開催
- 教育・人材育成：地域課題共通科目のPBLの強化、大学・企業の接続
- 産学官連携実装：産業界の実課題提供→大学の研究・学生チームの活動→企業実装の三位一体プロジェクトの通年運用
- コーディネート・インセンティブ：コーディネーターの配置、挑戦を可視化・評価する仕組みの整備
- 情報発信：若手研究者・面白い企業・学生プロジェクトの継続的発信、若者に届く言語でのリーチの設計

## ● スケジュール

令和7年度

- 「地域のニーズを把握する調査」の実施（10月～1月）
- 第2回産学官連携推進会議（2月）  
（意見交換）新しい地域連携（地域構想推進PFの構築）の方向性  
静岡県における高等教育の在り方（ビジョン）の方向性等

令和8年度

- 産学官連携推進会議の開催
- 地域大学振興に関する有識者会議の議論を踏まえた「地域構想推進プラットフォーム」構築に向けた取組の実施

コンソーシアムの機能強化による静岡県版『地域構想推進プラットフォーム』の構築